7. 取香川流域（とっこうがわりゅういき）

この地域は、成田市の中央部に位置する取香川の全流域を含んでいます。取香川沿いは水田が細長く広がり、両側に丘陵地が接する谷津田（やつだ）が特徴的です。丘陵地は樹林地や畑地、ゴルフ場として利用されています。取香川の水辺には、マコモやオギなどが生育しており、水田周辺には水田雑草群落、丘陵地にはスギ・ヒノキ植林や落葉樹の群落が分布しています。

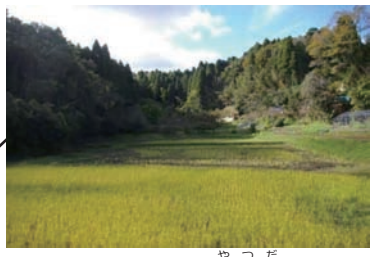
水辺が丘陵地に接した環境であり、樹林地に接した水辺を好むトンボやチョウの仲間が多く生息しています。また、水田で鳴いているシュレーゲルアオガエルや水生昆虫であるガムシの仲間もよく見られます。サギやカモの仲間、ホオジロの仲間など草地を餌場などに利用する鳥類が多く見られます。樹林地ではコゲラやシジュウカラなどが群れで移動している姿を見ることができます。畑地や畦（あぜ）ではモグラ塚も見られます。

線路沿いの狭い道

メモリアルパーク沿いの斜面林

竹林

シダの仲間が多い

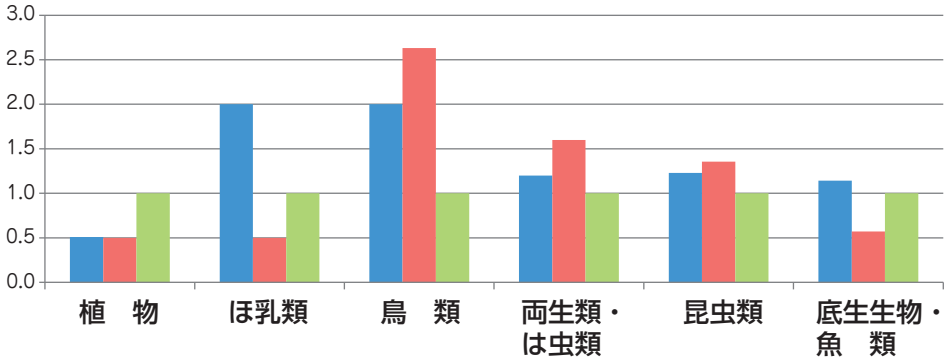


久米地区の谷津田（やつだ）

凡　例
- 自然観察ルート
- 写真撮影ポイント

この地図は、国土地理院の電子地図25000『成田』、『成田空港』を使用したものである。

確認種の推移



第１次調査
第２次調査
第３次調査

第３次調査時の確認種数を1.0とする。

第１次調査：平成５・６年度に水辺調査、平成７・８年度に陸域調査

第２次調査：平成14年度に水辺調査、平成15年度に陸域調査

第３次調査：平成26・27年度に動植物生息調査